

自殺対策における 生活状況調査の実施について

～和光市自殺対策計画～



生活困窮を要因とするハイリスク者の 早期発見に向けた取組



趣 旨

自殺ハイリスク者の早期発見に向けて、統一されたスクリーニングやアセスメントを行っていく必要があります。

母子保健分野では、来年度以降、乳児家庭訪問時に精神保健の全数調査を実施するなど、各領域において、具現化をすすめる予定です。その中で、生活困窮の分野においては、独自のものとして下記に示す調査表による調査を行い、早期発見につなげていく予定です。

概 要

調査名称	国民健康保険加入時の生活状況調査
調査目的	生活困窮リスクの早期段階における発見
対象者	社会保険を離脱し、国民健康保険に加入する人
時期	国民健康保険加入手続き時
場所	健康保険医療課国保担当窓口
手法	記名式による質問紙調査



リスクの判定

経済問題	当面の生活維持は可能か否か
就労問題	次の仕事の見込みは立っているか否か
健康問題	日常生活や仕事ができる身体状態か否か

当面の生活維持はできる

	健康問題 あり	健康問題 なし
就労見込あり	モニタリング	通常対応
就労見込なし	モニタリング	モニタリング

当面の生活維持ができない

	健康問題 あり	健康問題 なし
就労見込あり	貸付＋モニタリング	貸付
就労見込なし	貸付＋就労支援⇒生保	貸付＋就労支援

